

平芝自治区自主防災計画〈地震編〉

南海トラフ、猿投・境川断層地震に対する心構え

令和6年10月30日

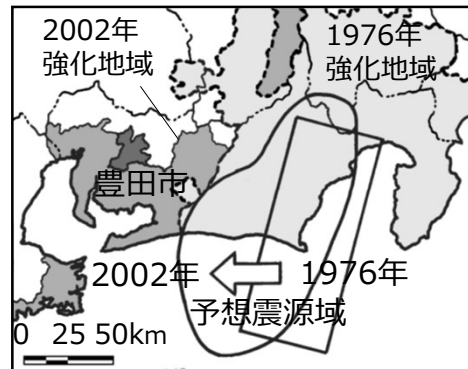
平芝自治区

平芝自主防災会

はじめに

約20年前、東海地震が話題となっていた。

その後、平成25（2013）年に「1000年に一度の南海トラフ最大級」として、予測結果が公表されたが、最近はあまり話題にのぼることはなかった。



東海地震予想震源域と強化地域

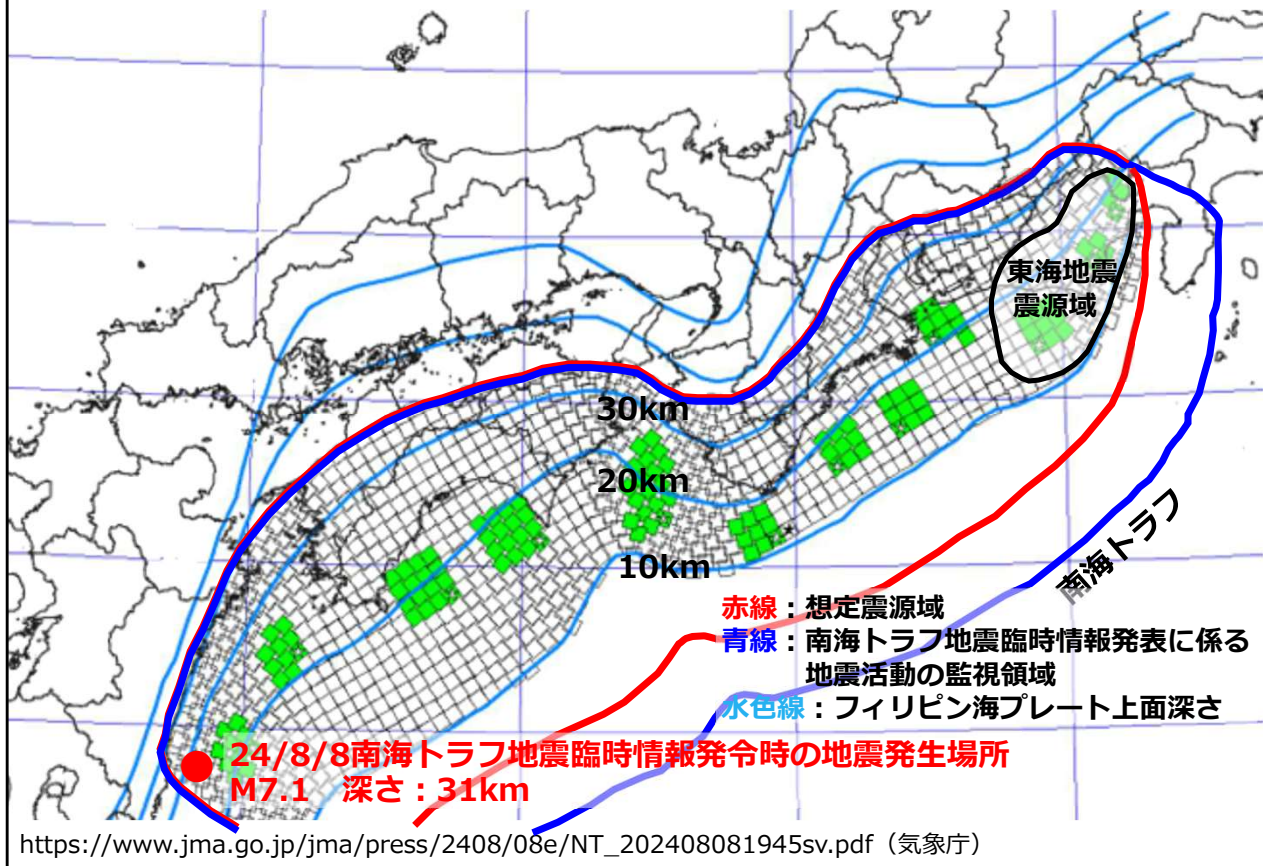
しかしながら、令和6(2024)年1月1日に発生した「能登半島地震」の被害状況を見るにつけ、地震に対する知識と備えが必要であると、改めて痛感した。

約20年前、東海地震が話題に話題になっていました。

その後、平成25（2013）年に「1000年に一度の南海トラフ最大級」として、地震の予測結果があまり話題にのぼることはありませんでした。

しかし、令和6（2024）年1月1日に発生した「能登半島地震」の被害状況を見るにつけ、地震に対する知識と備えが必要であると痛感し、令和4、5年に行った「1000年に一度の水害対策」に続き、地震への対応について考えるに至りました。

南海トラフ大地震想定震源

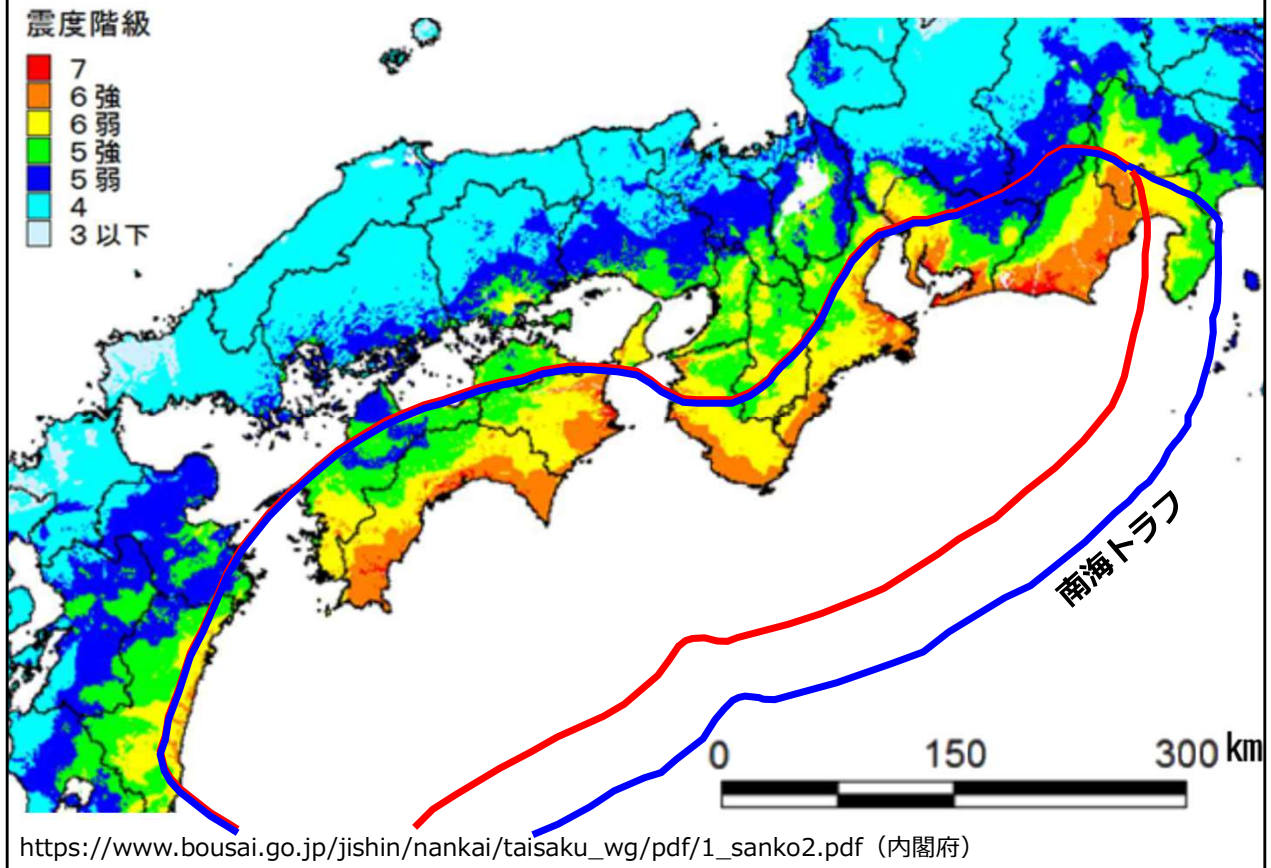


これは、南海トラフ大地震の想定震源です。

東海地震の想定震源域から南海トラフ沿いに震源域が広がり、現在では九州日向灘まで含む広大な地域が震源域として想定されています。



南海トラフ大地震想定震度



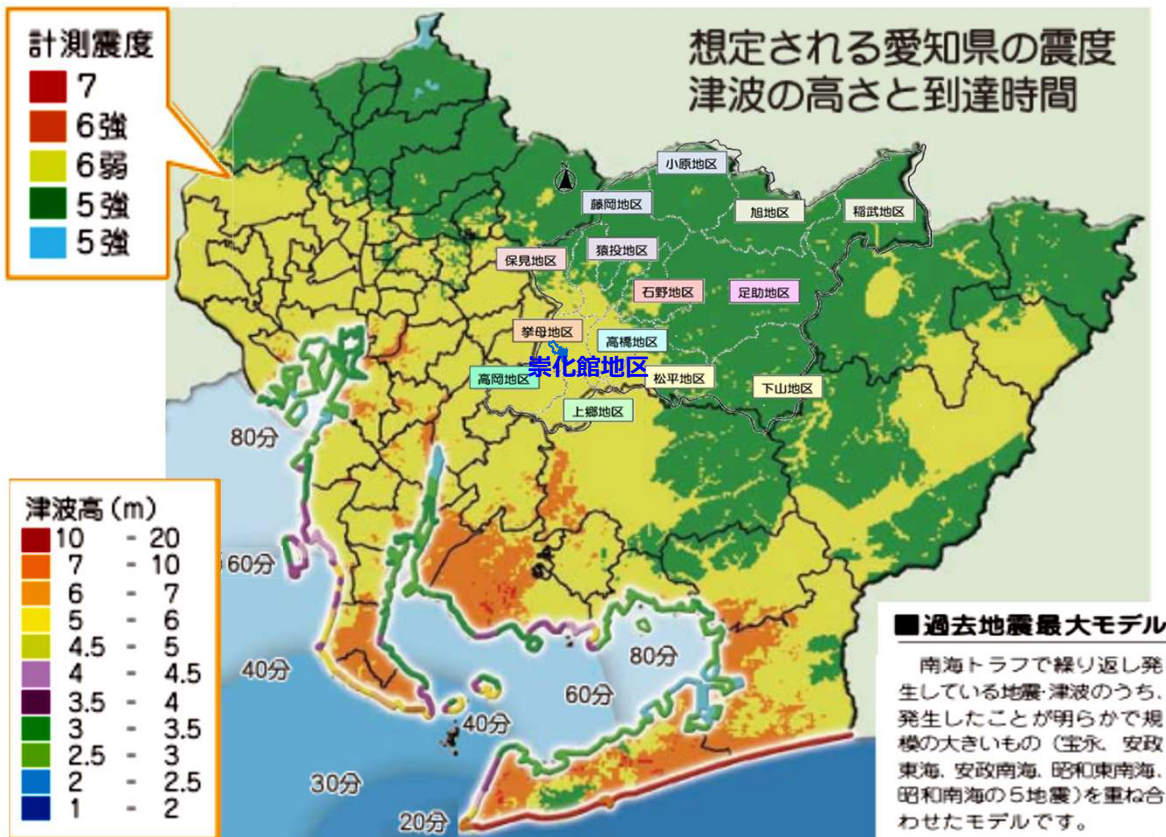
これは、南海トラフ大地震の想定震度です。

これによると、東海から紀伊半島および四国の太平洋沿岸で震度6強から7、内陸に行くにしたがって、6弱、5強、5弱となっているのが分かります。

豊田市については、おおむね6弱から5強であると考えられます。



南海トラフ大地震想定震度（愛知県）



<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/handa-hc/0000067929.html>（愛知県）

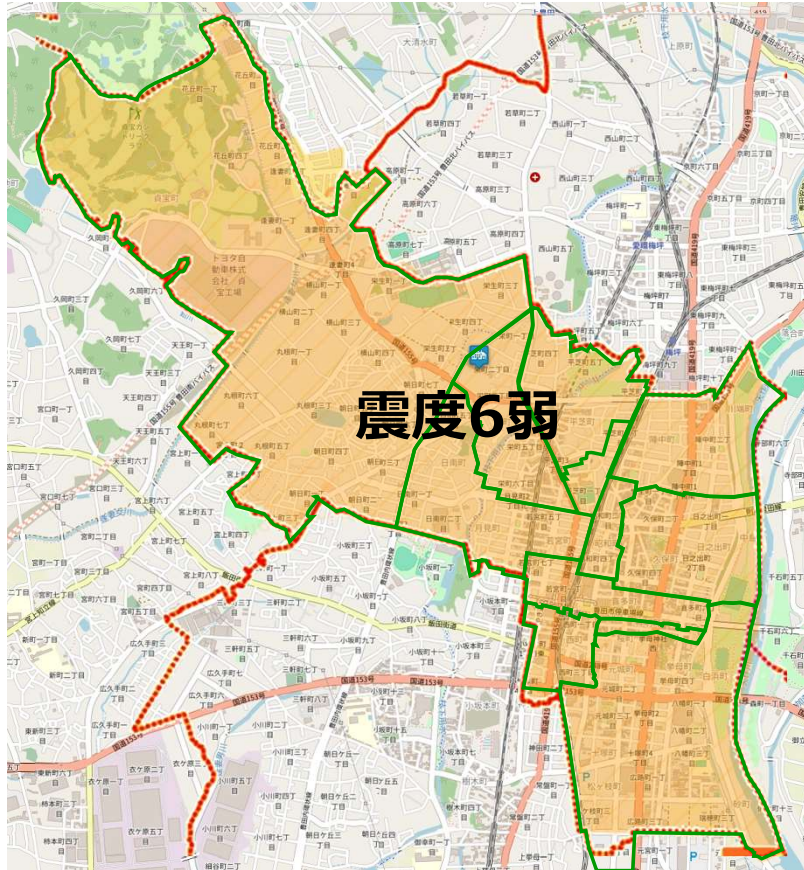
これは、愛知県全体の想定震度です。

これからも、平芝自治区を含む崇化館地区の想定震度はほぼ6弱であると考えられます。

また、この図は津波の高さと到達時間も表していますが、豊田市に関しては、津波の心配は全くないと考えられます。

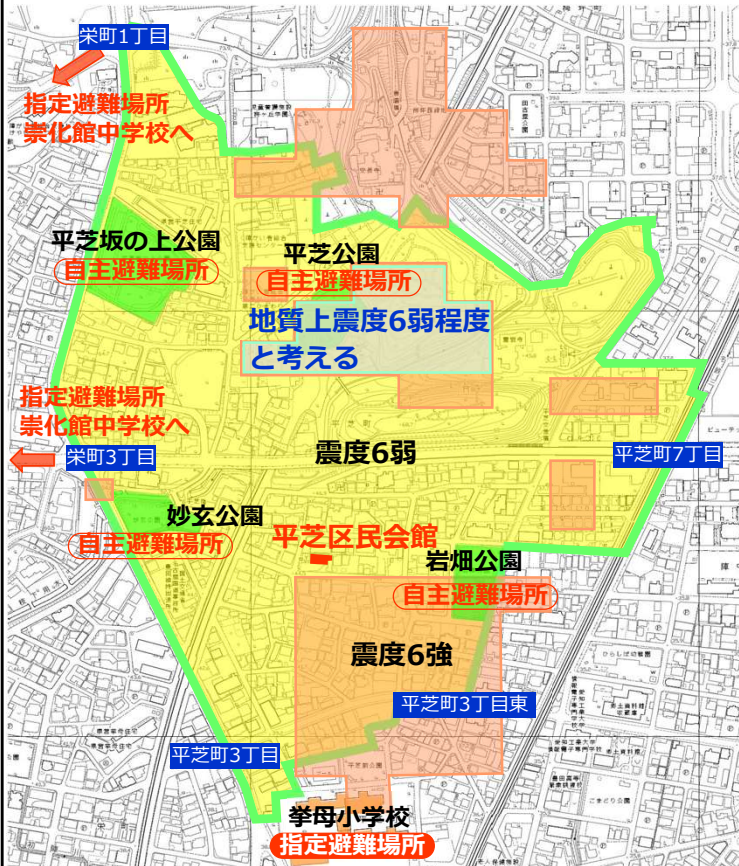


南海トラフ大地震想定震度（崇化館地区）



これは、崇化館地区の震度ですが、崇化館地区全域でやはり6弱と予想されています。

南海トラフ大地震想定震度（平芝自治区）



最大想定震モデル

<予想内容>

- ・自治区全体としては過去の地震最大と同じ「震度6弱」
- ・平芝公園全域、平芝町2丁目から3丁目付近で「震度6強」が予想されている

<上記に対する考察>

- ・「震度6強」の箇所の内平芝公園が含まれる箇所は花崗岩が確認できるので、（愛環鉄道トンネル調査報告書）「震度6弱」程度と思われる
- ・また、平芝町2丁目から3丁目にかけての震度6強についても比較的地盤が安定しているので、そこまではいかないのではと思われる

これを平芝自治区内で見えます。

過去地震最大モデルの場合、平芝自治区全域で震度6弱と想定されていますが、理論上最大想定モデルでは平芝町2丁目から3丁目付近で震度6強が想定されています。

これに関して、平芝公園が含まれる箇所は花崗岩が確認できる（愛環鉄道トンネル調査報告書より）ので、震度6弱程度で収まるのではないかと考えられます。また、平芝町2丁目から3丁目にかけての震度6強についても比較的地盤が安定しているので、そこまではいかないのでは、とも考えられます。

被害予測結果（地震被害：過去地震最大モデルと理論上最大想定モデル（豊田市））

・地質想定モデル

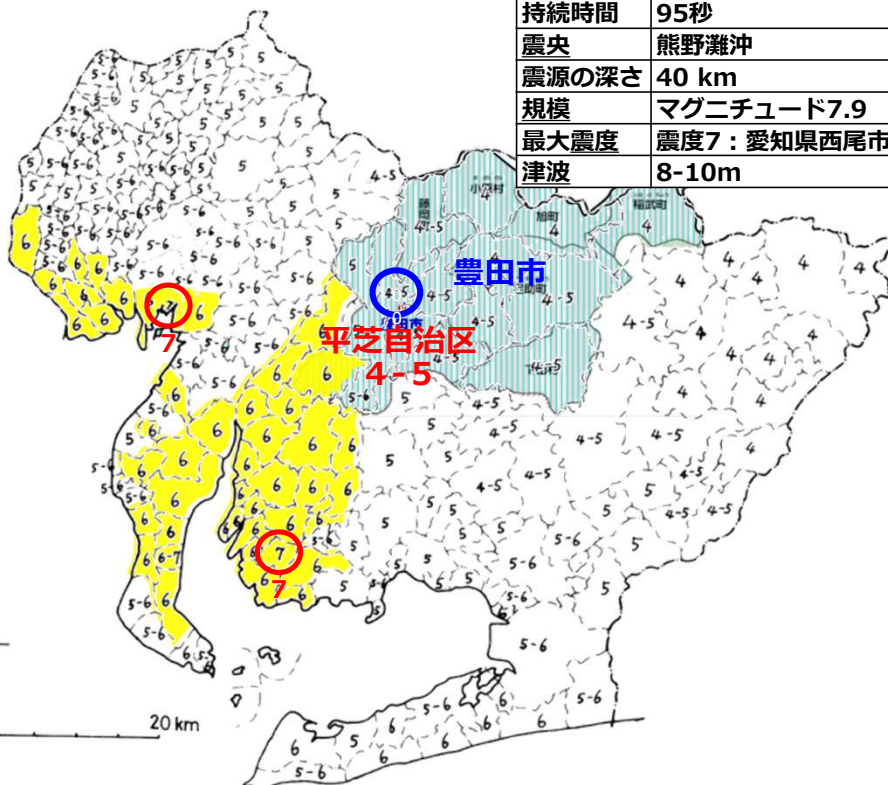
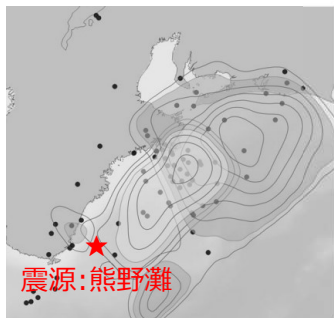
従来の地震測定モデル	
項目	東海・東南海地震 (平成14年度愛知県の予測)
地震規模	M8.27
周期	約100~150年の間隔
地震想定	東海地震・東南海地震の2つの地殻運動を想定したモデル
直接被害の予測数値	
間接被害の予測数値	

■: 想定モデル

新たな地震想定モデル	
過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
現在内閣府で検討中	M9.0
約100~150年の間隔	1000年に一度、あるいはそれよりもっと発生頻度が低い
過去に南海トラフで繰返し発生している地震のうち、発生したことが明らかで規模の大きい5つの地震を重ね合わせたモデル	南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震を想定したモデル
算出可能	算出可能
算出可能	算出不可

昭和東南海地震（1944年）

昭和東南海地震による愛知県内震度



昭和東南海地震の概要

発生日	1944年12月7日
発生時刻	13時35分40秒
持続時間	95秒
震央	熊野灘沖
震源の深さ	40 km
規模	マグニチュード7.9
最大震度	震度7：愛知県西尾市
津波	8-10m

https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeishou/rep/1944_tounankai_jishin/index.html

実際に起きた東南海地震の豊田市における震度を見てみましょう。

これは、平成19年3月に1944（昭和19）年12月7日に内閣府防災情報のページに掲載された、昭和東南海地震についての調査会報告書の一部を抜粋したものです。

愛知県内の昭和東南海地震による震度は図の通りで、西尾市、美浜町で震度7を、伊勢湾岸、三河湾岸、知多半島、渥美半島では震度6を観測していますが、内陸部に行くほど震度は弱まり、豊田市では、ほぼ4から5の震度となっています。

このことから、南海トラフ地震においても、沿岸部の津波はともかく、津波の影響のない内陸部では、地震による大きな被害は受けないのではないかと考えられます。



猿投・境川活断層について

三国山山麓(豊田市白川町付近)から三好池(みよし市)付近に至る活断層



ここまでは、南海トラフ地震に関して、その想定震度等を説明してきましたが、それよりも我々が注目し、もしこの地震が発生したら南海トラフ地震とは比べものにならない被害が起こるのではないかと考えているのが、「猿投・境川断層地震」です。

「猿投・境川断層」は豊田市白山町の三国山山麓からみよし市の三好池付近に至る、約20kmに渡る活断層です。

文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査研究推進本部が平成10年に行った調査 (<https://www.hp1039.jishin.go.jp/Aichi3B/mokuji.htm>) では、

- ・活動性の指標である平均変位速度は、ほぼ全域に渡って0.1m/千年程度(上下方向)である。このことから、活動度はB級最下位であることが確認された。
- ・この断層の活動間隔は約1.4~3.4万年程度と推定される。活動間隔が相当長いため、仮に間隔が約1.4万年であったとしても近い将来に地震が発生する可能性が高いとは思われぬ。しかし、1.4万年という値には誤差もあるため、安全とは言い切れず、注意を怠ることはできない。

とあります。

猿投・境川活断層について

猿投・境川活断層から区民会館までの距離：約4.5km



猿投・境川断層は、平芝自治区から最も近いところで約4.5kmという近さにあり、万が一この断層が活動を起こした場合、令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」における珠洲市や羽咋郡志賀町（はくいぐんしかまち）と同様に、マグニチュード7.6、最大震度6強から7の地震になる可能性があるのではと考えました。

そこで、我々は「猿投・境川断層地震」を前提とした地震被害への対応を考えることにしました。

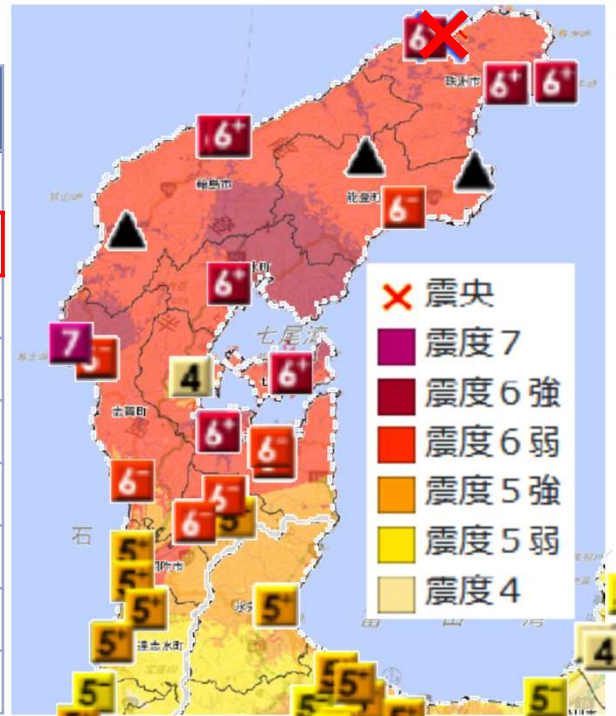
能登半島地震の被害状況

対策を考えるにあたって、能登半島地震の被害状況の把握と分析結果を調べました。

能登半島地震について

地震発生状況（最大震度5強以上） 2024年01月06日時点

発生時刻	震央地名	M	最大震度
24/1/01 16:06	能登地方	5.5	5強
24/1/01 16:10	能登地方	7.6	7
24/1/01 16:18	能登地方	6.1	5強
24/1/01 16:56	能登地方	5.8	5強
24/1/02 17:13	能登半島沖	4.6	5強
24/1/03 02:21	能登地方	4.9	5強
24/1/03 10:54	能登地方	5.6	5強
24/1/06 0:26	能登地方	5.4	5強
24/1/06 23:20	能登半島沖	4.3	6弱



1月1日以降の地震活動について記載

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html（気象庁）

左の表は令和6年1月1日から6日までに発生した最大震度5強以上の地震を示したものです。

この内、1月1日午後4時10分に発生した地震が最も大きいもので、輪島の東北東30km付近を震源とし、マグニチュード7.6、石川県珠洲市や志賀町（しかまち）で最大震度7を観測したほか、周辺地域の広い範囲で、震度6強や6弱の揺れを観測しました。本地震は逆断層型で、地殻内で発生した地震でした。

震度7の地震が収まった後も震度5強の余震が続いており、これが後述する「本震後の諸活動」に大いに関係してきます。



地震による被害

1. 建物被害

1) 揺れによる被害（建屋の倒壊）

2) 液状化による被害

3) 津波による被害

4) 急傾斜地崩壊による被害

5) 地震火災による被害

6) 津波火災による被害

https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/1_sanko.pdf（内閣府）

これは、令和元年に内閣府が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定について」の中で触れている、「被害想定項目一覧」からの抜粋です。



建物被害としては、まず、1) 揺れによる被害（建物の倒壊）から6) までに示す被害が挙げられていますが、平芝自治区では「液状化」「津波」「土砂災害」はないので、「建物の倒壊」と「地震火災」の二つを取り上げました。

地震による被害

2. 屋外転倒、落下物の発生

- 1) ブロック塀・自販機等の転倒
- 2) 屋外落下物の発生

3. 人的被害

- 1) 建物倒壊
- 2) 津波
- 3) 急傾斜地崩壊
- 4) 火災
- 5) ブロック塀等の転倒、屋外落下物
- 6) 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物
- 7) 揺れによる建物被害に伴う要救助者
- 8) 津波被害に伴う要救助者・要搜索者

https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/1_sanko.pdf (内閣府)

先ほどの被害は建物に対するものですが、「建物の倒壊」と「火災」は人的被害にもかかわっています。

また、その他の人的被害として、ブロック塀や自販機などの転倒や落下物、屋内での家具の移動や転倒、落下物などが挙げられているので、これらも要注意です。

1) 揺れによる被害 (建物の倒壊)

能登半島地震発生直後の珠洲市映像 (NHK)



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240101/k10014305171000.html> (NHK)

最初は、揺れによる被害、建物の倒壊です。

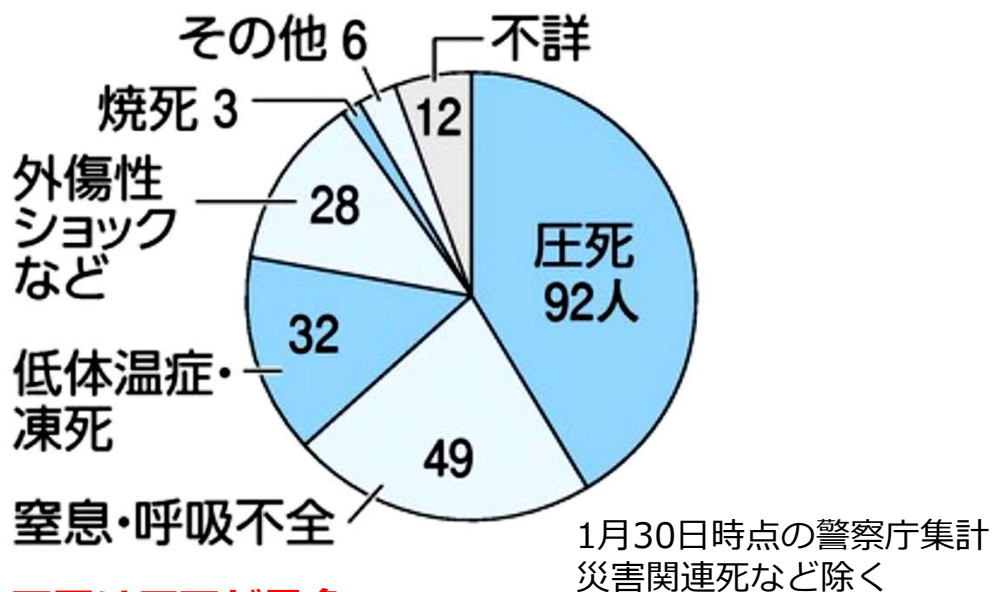
これはNHK Newsで報道された、地震発生直後の珠洲市役所からの映像です。右のQRコードから実際の映像を見ることができます。



映像の画面左に、地震発生直後から瓦屋根が倒壊したと思われる土埃が舞っており、その後次々に土埃が舞う様子が撮影されています。これを見ると、まずは建物倒壊に対する事前の対応が必要であると強く感じます。

1) 揺れによる被害（建物の倒壊）

能登半島地震による死因



- ・ 死因は圧死が最多
- ・ 耐震化が進んでいない古い木造家屋が多く、激しい揺れで倒壊が相次いだ

このグラフは、1月30日時点での警察庁による集計結果で、能登半島地震による被災者の死因を表したものです。

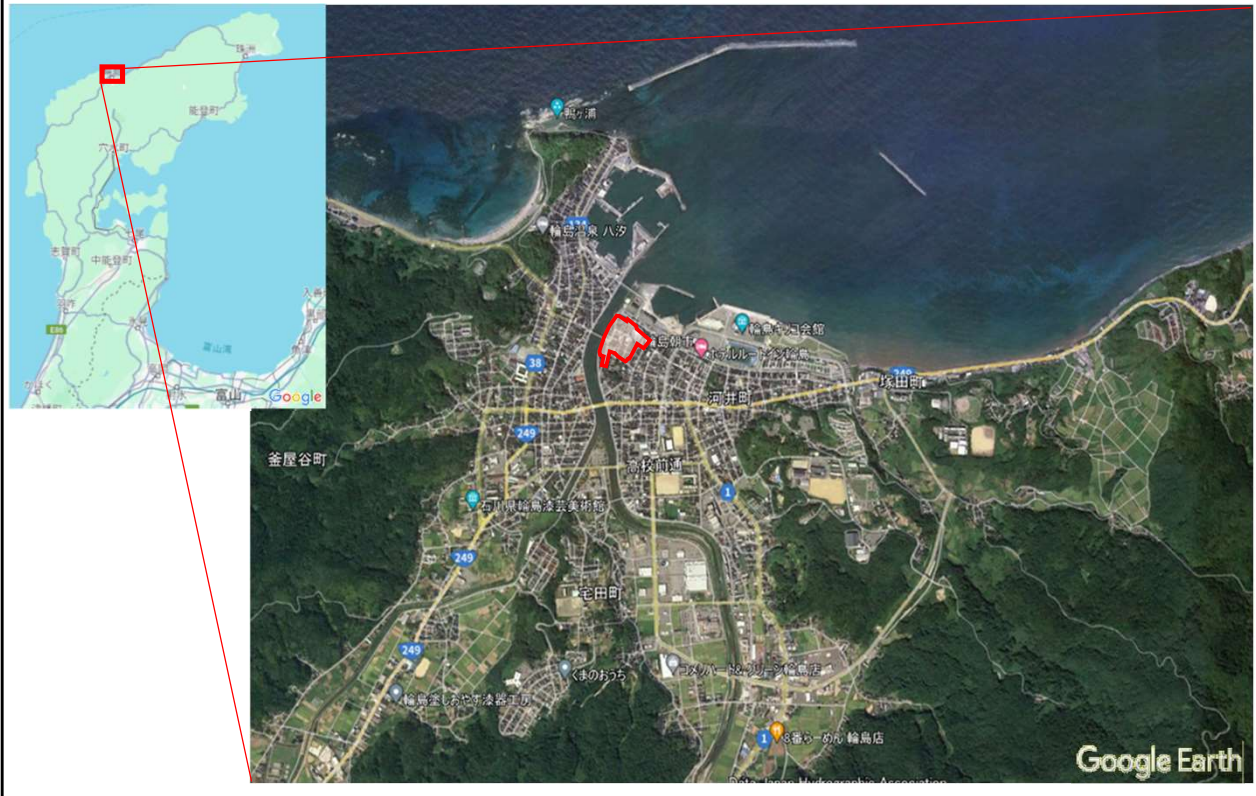
災害関係死などを除いた数字ですが、このグラフからは圧死が最多であることが分かります。

耐震化が進んでいない古い木造家屋が多く、激しい揺れで倒壊が相次ぎ、多くの犠牲者が出たと考えられます。

やはり、まずは地震により建物が倒壊しないよう事前の対策が必要不可欠と考えます。

5) 地震火災による被害

能登半島地震による輪島の火災



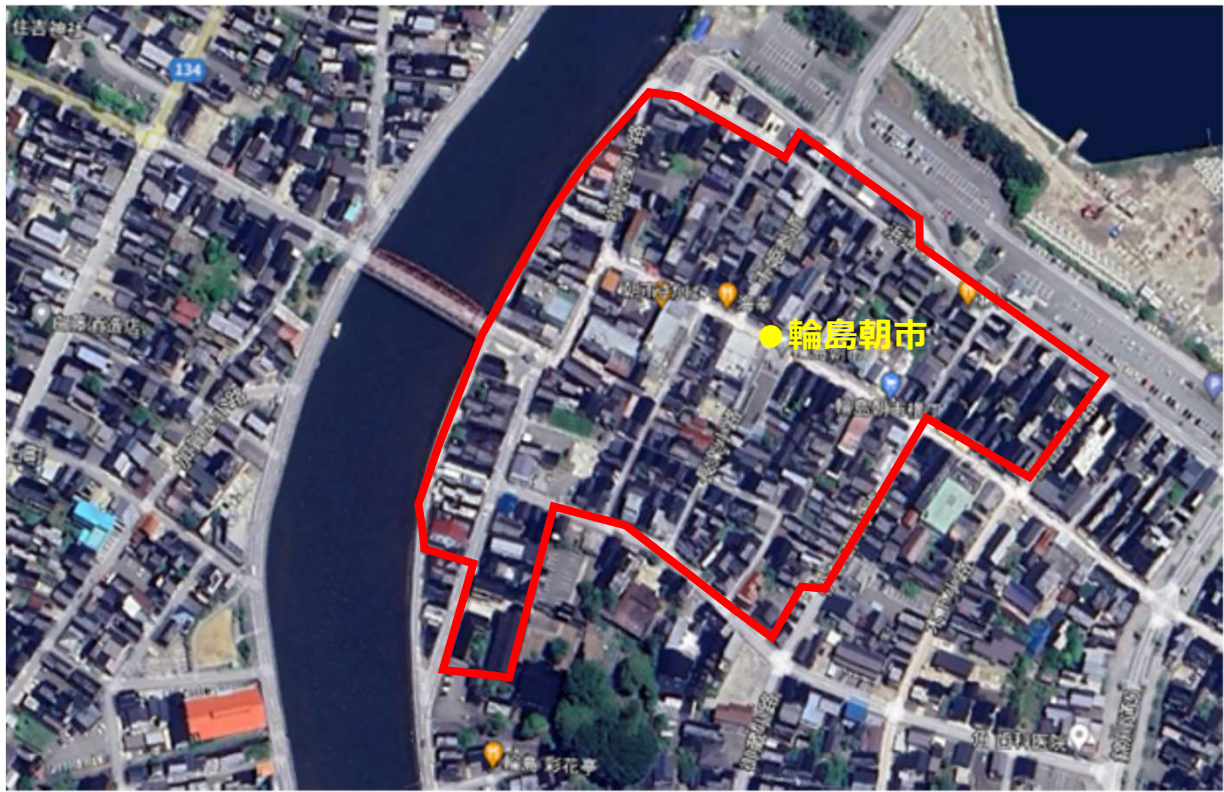
次は地震火災による被害です。

能登半島地震により、輪島市輪島朝市周辺で、大規模な火災が発生しました。

左上の地図に示すのが輪島市、また右の航空写真は輪島市周辺を拡大したのですが、その中の赤枠で囲った部分が今回火災により焼失した地域です。

5) 地震火災による被害

能登半島地震による輪島の火災



これは、焼失前の画像です。

焼失区域のほぼ真ん中が輪島朝市通りです。

5) 地震火災による被害

能登半島地震による輪島の火災

焼失面積：約50,800m²
消失建物：約300棟
(国交省国総研調査24/1/12)



これが、火災後の画像です。

焼失面積は約50,800m²。これはバンテリン名古屋ドーム（48,169m²）を超える面積が焼失したことになります。


また、焼失した建物は約300棟です。

さらに、当日の風速、風向きを調べると、南西の風約2.0mとのことで、決して強風にあおられて火災が広がったわけではないことが分かります。



5) 地震火災による被害

「輪島朝市」火災、木造密集や狭い道路…不利重なり広く延焼
消防活動なければ2倍焼失も (産経新聞24/2/20)



輪島市
石川県
富山県
金沢

「輪島朝市」大規模火災 延焼の動き

通報 1月1日 午後5時23分ごろ
鎮圧 2日 午前7時半ごろ

焼失範囲

火が広がった方向

※総務省消防庁による

100m

火元とみられる輪島市河井町の住宅で電気配線から出火、木造住宅が密集していたことや、狭い道路など、消火が不利な条件下で燃え広がったとみられる。焼失面積は東京ドームの面積を上回る約4万9千平方メートルに及び、約240棟が焼失した。消火活動が難航した要因として、がれきにふさがれて一部の防火水槽が使えなかったり、断水で消火栓が使えなかったりしたことを挙げた。

- ・ 耐震性の低い木造住宅が多く、それらが倒壊した
- ・ 津波警報で住民が殆ど避難し、消火活動ができなかった
- ・ 消防の初期消火活動ができなかった

<https://www.sankei.com/article/20240220-S3A6675QU5MAZJJTQNO2PRPHK4/photo/J2AMR3TWERJKFKDPEN5CV6AZI4> (産経新聞)

これは、令和6年2月20日の産経新聞の記事です。

「輪島朝市」火災、木造密集や狭い道路…不利重なり
広く延焼 消防活動なければ2倍焼失も

との見出しで、火元とみられる輪島市河井町の住宅で電気配線から出火、木造住宅が密集していたことや、狭い道路など、消火が不利な条件下で燃え広がったとみられる。

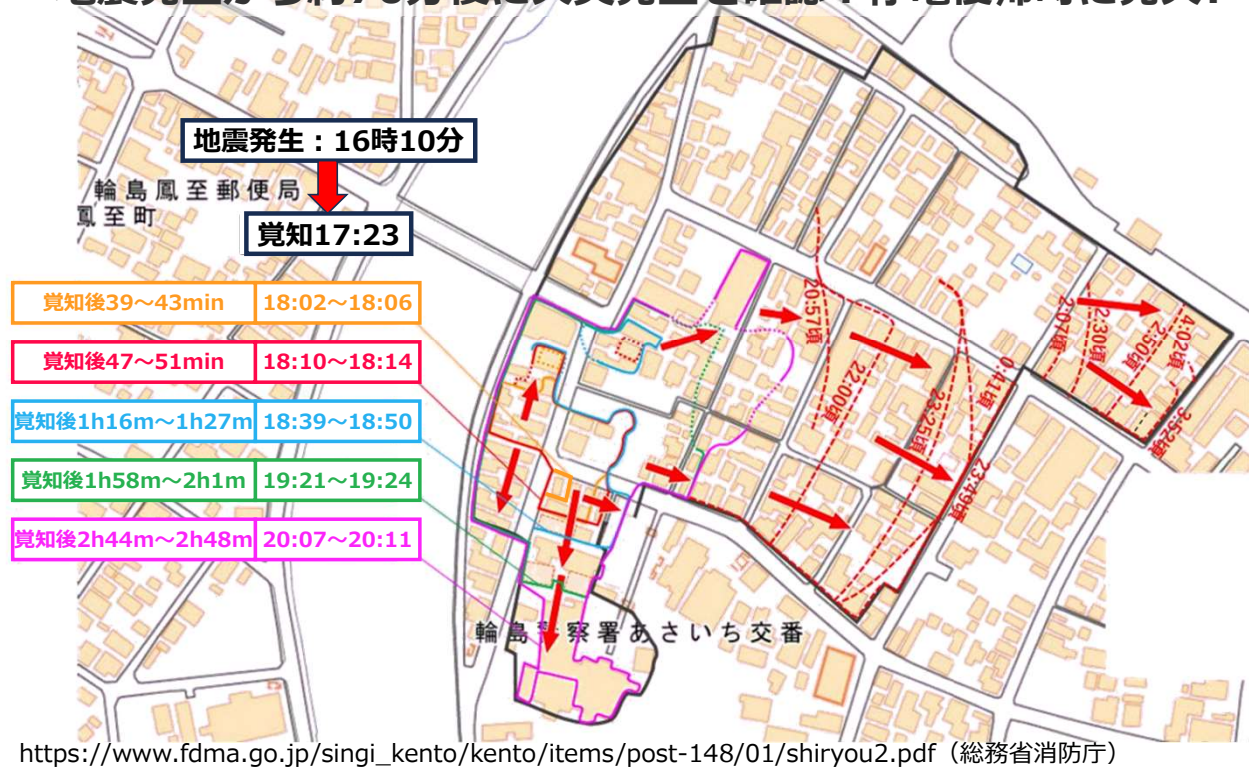
焼失面積は東京ドームの面積を上回る約4万9千平方メートルに及び、約240棟が焼失した。消火活動が難航した要因として、がれきにふさがれて一部の防火水槽が使えなかったり、断水で消火栓が使えなかったりしたことを挙げた。(記事抜粋)

それ以外の理由として、耐震性の低い木造住宅が多く、それらが倒壊したたこと、津波警報で住民が殆ど避難し、消火活動ができなかったこと、そして、消防の初期消火活動ができなかったことなどが挙げられます。



5) 地震火災による被害

- ・火災は1件の家（木造2階建て、築約50年）から発生し延焼
- ・地震発生から約70分後に火災発生を確認：停電復帰時に発火？



その後、令和6年3月18日時点として、総務省消防庁より報告書が公表されました。それによると、火元は倒壊した1軒の家屋で、前述した様々な要因で火災が広がったとのことです。



ここで注目すべきは、「地震の発生は16時10分であるが、火災発生が確認されたのはそれよりも約70分後だということです。すなわち、停電後の復旧（試験通電）時に倒壊した家屋の配線が損傷しており、そこからのショートにより火災が発生したものと考えられます。

従って、火災については、地震発生直後はもちろん、停電からの復旧（試験通電時）にも注意が必要です。

また、延焼を防ぐには「初期消火」により、できるだけ早めに消火を行うことが重要とも考えます。

尚、令和6年5月28日に同じく総務省消防庁より、さらに詳しい報告がされています。

https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-149/02/sankou2.pdf



5) 地震火災による被害

輪島市の火災消失範囲を平芝町に投影

(輪島市の消失形状を上下反転し右45°回転で平芝自治区に投影)



3丁目：174世帯 + 6丁目：97世帯 = 計271世帯

この輪島の焼失範囲を平芝町に投影してみると、3丁目の大半と6丁目の一部が含まれる範囲となり、3丁目で174世帯、6丁目で97世帯、計271世帯が被害を受けることが分かります。

地震災害への対応

次に、自治区としての地震災害への対応です。

1. 建物被害への対応

建物耐震基準の変遷

- 1923（大正12）年 関東大震災発生
- 1924（大正13）年 市街地建築物法施行規則改正
- 1950（昭和25）年 建築基準法施行（旧耐震：震度5）
昭和25年11月23日以降の設計
- 1968（昭和43）年 十勝沖地震発生
- 1978（昭和53）年 宮城県沖地震発生
- 1981（昭和56）年 建築基準法改正（新耐震：震度6強）
昭和56年6月1日以降の設計

**※旧耐震の建物は要注意：家の強さ知るために
豊田市「無料耐震診断」を受けよう**

	対象要件（概要）
無料耐震診断 (右記以外は有料)	<ul style="list-style-type: none">・ 昭和56年5月31日以前着工・ 階数が2以下・ 一般的な木造の住宅

<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/bousaishien/1013899/1002571.html>（豊田市）

大地震が発生するたびに耐震基準が見直され、現在は昭和56年の新耐震が基準となっています。

そこで、自治区内の旧耐震家屋については、市の無料耐震診断を受けることを呼びかけました。



1. 建物被害への対応

地震から命を守る⇒木造住宅を「耐震化」



「なおす」



「こわす」



「まもる」
耐震シェルター（部屋型）



「まもる」
防災ベッド

命を守るために→「地震防災補助事業」が利用可

		補助金額	対象要件（概要）
なおす	一般耐震改修工事	上限100万円	診断結果1.0未満
	段階的耐震改修工事	上限60万円	診断結果0.4以下
こわす	解体工事	上限20万円	診断結果1.0未満
まもる	耐震シェルター・ 防災ベッド整備工事	上限30万円	診断結果0.4以下 高齢者又は障がい者の居住

<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/bousaishien/1013899/1002571.html>（豊田市）

その結果に基づいて、地震防災補助事業を利用して耐震化を行うことを奨励しています。



1. 建物被害への対応

地震から命を守る⇒**木造住宅を「耐震化」**

無料耐震診断申込方法

・次のいずれかの方法で申込

(1) あいち電子申請システム

以下のリンクから申込フォームに必要事項を入力

・[あいち電子申請システム 申込フォーム](#)

(2) メール、ファクス、郵送、窓口への提出

申込書（様式）を作成し、以下まで送付または提出

メール：keikan@city.toyota.aichi.jp

ファクス：0565-34-6948

提出先：〒471-8501愛知県豊田市西町3-60

西庁舎4階 建築相談課

※以上の方法で申込ができない場合は、電話にて問い合わせ

電話：0565-34-6649（建築相談課 直通）

<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/bousaishien/1013899/1002571.html>（豊田市）

これは、無料耐震診断申込方法です。

あいち電子システムやメール、ファックス、郵送、窓口への提出等、様々な申込方法があります。



1. 建物被害への対応

地震から命を守る⇒**家具転倒・移動、食器等散乱防止**

耐震化で建物の倒壊をまぬかれても
倒れた家具や散乱した食器等による

- ・ 負傷（最悪の場合圧死）
- ・ 避難障害（逃げ場がなくなる）
- ・ 火災 の「**3つの危険**」がある



北淡震災記念公園HP

地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合



<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2023/202302/data/camp2.pdf> (東京消防庁)

次は、家具転倒や移動および食器等の散乱防止です。

耐震化で建物の倒壊をまぬかれても、倒れた家具や散乱した食器などで、負傷したり、逃げ道がふさがれたり、火災が発生したりの3つの危険があると言われています。

下のグラフは過去に発生した地震において家具類の転倒や落下、移動によってけがをされた人の割合で、いずれの地震でも約4割前後となっているので、重要なポイントであると言えます。



1. 建物被害への対応

地震から命を守る⇒**家具転倒・移動、食器等散乱防止**

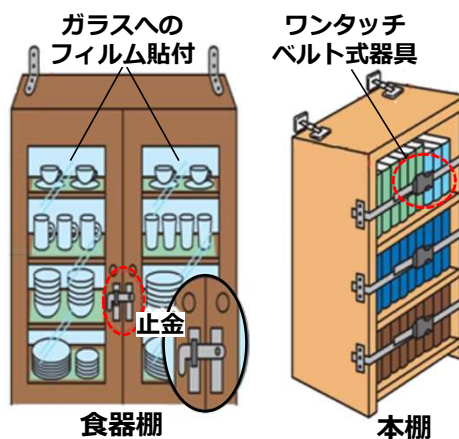
1) 家具の固定



※安全な家具の配置も重要

2) 食器等の散乱防止対策

- ・扉開き防止止金
 - ・ガラス飛散防止フィルム
 - ・ワンタッチベルト式器具
 - ・食器すべり止めシート
- ※食器は重いものを下へ置く



<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/tento/index.html> (豊田市)

次に家具転倒防止です。

自治区内で、事前の家具転倒防止や食器等の散乱防止を呼びかけると同時に、民生委員と協力し、一人暮らしのお年寄り世帯の家具転倒防止対策を順次実施中です。



2. 建物火災への対応

地震から命を守る⇒**火災防止への対応**

1) 家屋倒壊の防止と家具・家電の転倒防止

2) 出火原因への対策

・地震後の通電火災

＜対策＞ **感震ブレーカー**の設置

地震後のブレーカー遮断

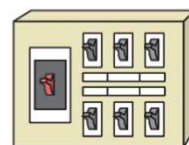
・ストーブの転倒やガス漏れによる出火

＜対策＞ ストーブの電源や元栓の遮断

3) 確実な初期消火

＜対策＞ **消火器**の準備と**すぐに使える**
適切な場所への設置

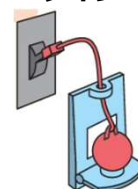
※共助による初期消火活動を考えると
玄関先への設置が望ましい



分電盤タイプ



コンセント
タイプ



簡易タイプ
感震ブレーカー

<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r2/chapter1/section1/para3/56542.html> (総務省消防庁)

建物火災への対応として、出火原因への対策としての感震ブレーカーの設置や初期消火を行うための消火器の準備も呼びかけました。



3. 震災から身を守るためには？

- ・まずは、「**自分の身は自分で守る**」ことが原則
- ・地震は水害と異なり、予測は不可能
- ・そのため地震に対しては、普段からの準備が重要
- ・ここでは 家屋倒壊
地震火災
家具の移動や転倒
について、その対策を一部紹介したが、
- ・それ以外にも準備が必要
 - 食料や水等の防災用備蓄品
 - 非常持ち出し品
 - 避難先と家族との連絡方法
 - 家族での相談と情報共有 等々

日頃の心構えと事前の準備で、緊急事態に備えることが大事

震災から身を守るために、区民の皆さんにお願いしたいことは、まずは「自分の身は自分で守る」ことです。

地震に関しては、水害と異なりその発生の予測は不可能です。従って、地震に対しては普段からの準備が重要です。

ここでは、家屋の倒壊、地震火災、家具の移動や転倒への対策を一部紹介しましたが、それ以外にも、食料や水など防災用備蓄品や非常持ち出し品の準備、避難先や家族との連絡方法、家族間での相談と情報共有など、日頃の心構えと事前の準備を行っていざという時に備えることが大事であると考えます。

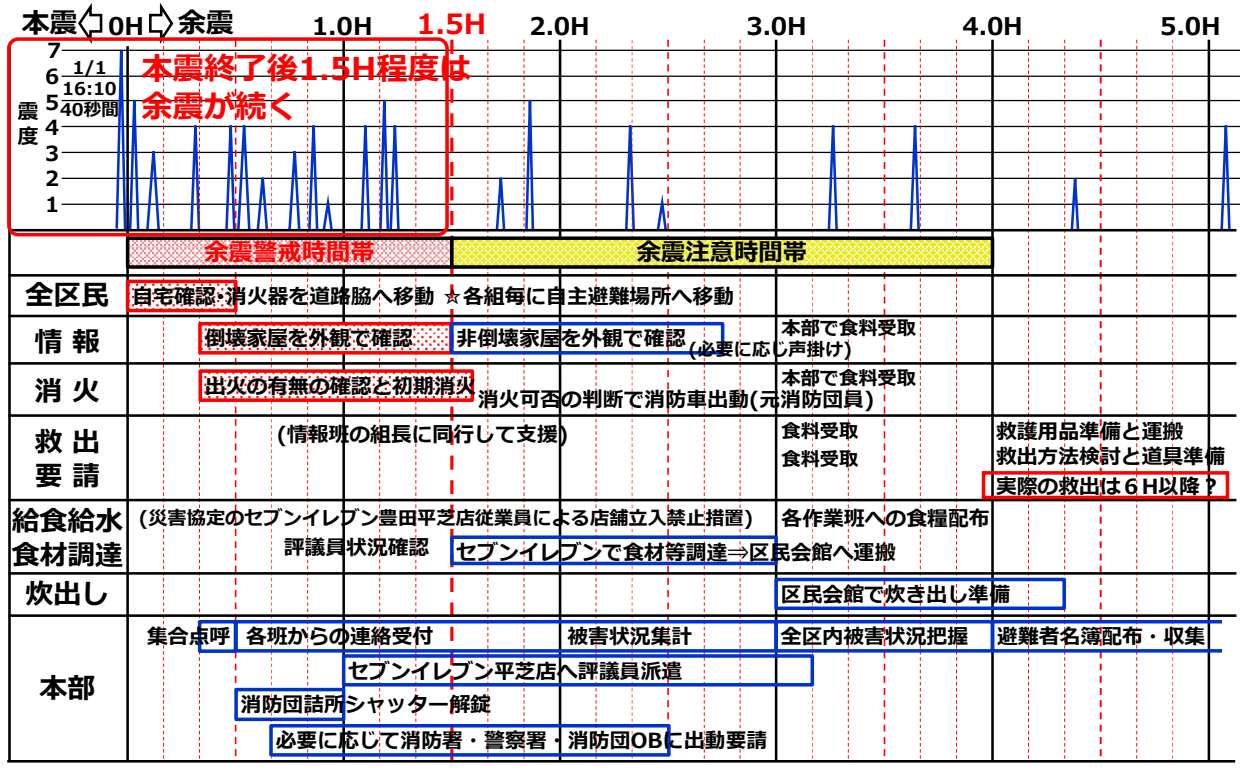
地震発生時の自治区および区民の対応

そして、万が一地震が発生した場合、自治区および区民の皆さんの対応について説明します。

地震後の自主防災会活動

・本震後4時間程度余震が続く中での活動タイムライン策定

<本震後の余震の震度と頻度（能登半島地震の例）>



いざ地震が発生した後の自主防災活動ですが、本震が収まった後、余震が頻発する中でここに示す各班がどのようなタイミングで、それぞれの活動を行うかのタイムラインを作成しました。

いずれにしても、本震後1時間半程度は余震が続くため、余震警戒時間帯として情報収集、初期消火、各活動準備を行い、その後本格的な活動を行うことになるのではと考えています。

地震後の自主防災会活動

- ・本活動は震度6弱以上の地震が発生した場合に招集・実施
(1944年東南海地震における豊田市の震度は4から5)

会長 (区長)	副会長 (副区長) 防災部長	民生児童委員 主任児童委員 評議員 消防団 諸団体役員	情報班(組長) 評議員3・6・7丁目 評議員4・5丁目	情報班(組長)		消火班		避難誘導班		救護班		給食給水班	
				昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
			隣組	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			1	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			2	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			4・3	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			5	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			6	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			7	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			8	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			9	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			10	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			11	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			12	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			13	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			15・14	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			16	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			17	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			19	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			21	組長	組長	店長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			22	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			25	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			26	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			30	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			36	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			42	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			43	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			44・45・46	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			47	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			52	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			53	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組
			54	組長	組長	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組	隣組

万が一南海トラフ地震(4-5)が発生した場合は、実地訓練として招集予定

そして、自治区内隣組ごとに各班・昼間と夜間に分けて各班の担当を決めてもらい、全体として地震発生時の防災組織を作りました。
 尚、この活動は「震度6弱以上の地震」が発生した場合に招集を行って実施することを想定しています。
 ただし、南海トラフで地震が発生し、震度4から5強が観測された場合は「防災実地訓練」として招集を行うことも考えています。

**平芝自治区
平芝自主防灾会**